

支部より 広島支部 県外見学会に参加して ～香川県丸亀市へ～

藤井 秀幸

2月7日、広島支部見学委員会企画による、県外見学会に参加した。ルートは、うちの港ミュージアム、中津万象園（昼食）・丸亀美術館、丸亀まちなみ散策、丸亀城、丸亀市保健福祉センター、丸亀平井美術館、丸亀市猪熊玄一郎現代美術館（外観のみ）、ゴールドタワー、与島。参加者33名は、広島駅北口から、バスで一路丸亀へと向かった。



まず、うちの港ミュージアムへ。丸亀うちの歴史や様々なデザインの展示、丸亀うちわと並ぶ伝統工芸である「一貫張」や、讃岐広島の青木石などが展示されている。うちの骨の竹を割る実演も行われていた。

中津万象園は、貞享5年（1688年）丸亀二代目藩主・京極高豊侯により、ここ中津の海浜に中津別館として築庭された。白砂青松の松原に続いて1,500余本の矮松を

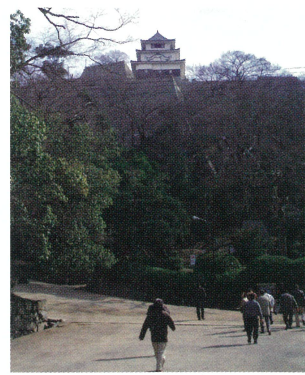


植え、庭の中心には京極家先祖の地である近江の琵琶湖を模った八景池を置く。近江八景になぞらえて、帆、雁、雪、雨、鐘、晴嵐、月、夕映と銘した八つの島を配し、その島々を橋で結んだ回遊式の大名庭園である。広々とした庭園には、大きく枝を広げた「大傘松」など松林があり、池を越えて海まで臨まれたという茶室「観潮楼」が設けられている名園であった。



昼食を頂いた後、丸亀市中心部へ向かう。当初、市民会館見学ということだったが、見学できる場所が限定されるということで、急きょ町並み散策と丸亀城見学へ変更。市内中心地にそびえ立つ丸亀城は、日本一の高さと美しい石垣を持ち、重要文化財指定の日本一小さな現存木造丸亀城

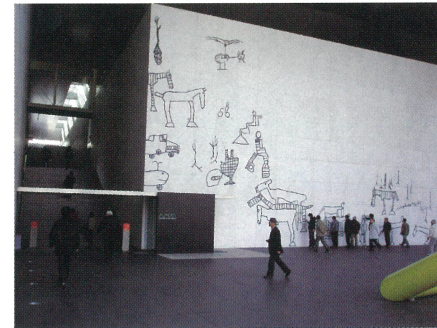
天守を頂く。急な坂を上り、天守閣からの眺めは歴史ファンならずとも必見である。精巧なノミの跡や豪快な野良積みなど、数々の石積み方法や悲しい伝説などが紹介されている。



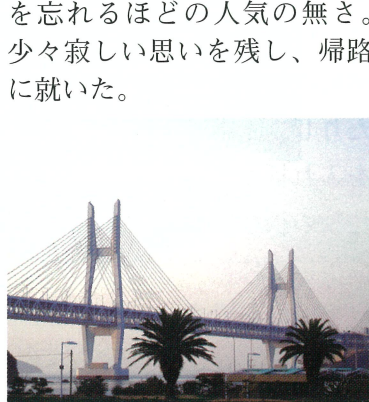
丸亀平井美術館は、スペインの若い芸術家の作品が展示してある美術館である。設計はバルセロナの建築家、アルフレード・アリーバス氏。スペイン人スタッフのプロデュースということで、丸亀とスペインとの関係を示唆するものだろうが、建物の若干の老朽化が気になった。



当初のコースになかった丸亀市猪熊玄一郎現代美術館は、世界で活躍中の建築家、谷口吉生氏設計。夕方になって来館者が多く目に付き、地元でも人気スポットとして愛されているようである。大きな皮下空間と、柔らかな明かりが落ちる空間構成は秀逸で、内部に引き込まれていくような優しさと、洗練された美しさが同居する建築だった。



さて、帰りのお土産を…とセッティングされていた1988年竣工のゴールドタワー。瀬戸大橋ブームも落ち着き、残されているのはゲームセンターとレストランであった。気を取り直して瀬戸大橋途中の与島フィッシャーマンズワーフで休憩をとる。こちらも休日であることを忘れるほどの人気の無さ。少々寂しい思いを残し、帰路に就いた。



MONTHLY No.41 建築士

IROSHIMA



表紙写真について

「Fantasista新築工事」

- 設計監理／今川建築設計
- 施 工／三島産業株式会社
- 所 在 地／岡山県井原市
- 構 造／鉄骨造
- 敷地面積／3,845.55㎡
- 建築面積／1,218.02㎡
- 延床面積／1,230.90㎡
- 規 模／2階建て
- 竣 工／2007年12月

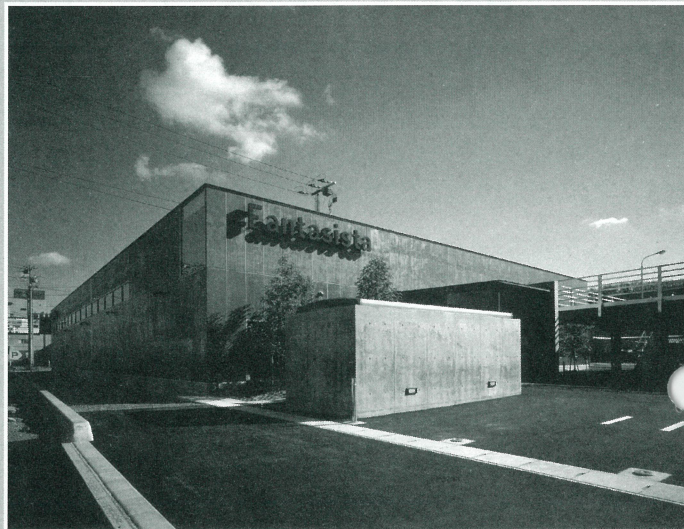
「Fantasista」は井原市の国道313号線の拡張工事に伴い、2007年6月に建て替えを行ったパチンコ・スロット店です。

外装には、ALC版にモルタル塗りを施し、周囲に対して落ち着いた印象を与えます。

景観にも配慮し、元来の主張するパチンコ店との違いを生み出します。また、内部は鉄骨の柱、梁を見せるこ

とにより、シンプルな構成を実現しています。

オープン以来、多くの地域の方々に来場していただき、今までの地方都市に見られるパチンコ店のイメージにとらわれることのない、新しい店舗を提案することができました。



お知らせ 広島県二級及び木造建築士の登録申請窓口が「広島県」から広島県建築士会に変わりました

社団法人広島県建築士会は、建築士法に基づく広島県指定登録機関として指定(平成21年3月30日)を受け、4月1日より免許登録等の業務を行います。広島県登録の二級建築士及び木造建築士の登録は、居住地にかかわらず広島県建築士会にて手続きを行って下さい。

併せて、4月1日以降、新規に登録申請する二級・木造建築士は、「免許証」が一級建築士と同様に「免許証明書」(顔写真入りのカード)に変わります。また、現

をお持ちのA4サイズの免許証をこの「免許証明書」に「切り替え」することもできます。その際はA4サイズの免許証は返納して頂きます。

設計または工事監理の住宅契約に関する「重要事項の説明」の際に、「建築士免許証」の提示が義務付けられましたが、この場合、現在のA4サイズの「免許証」でも、カード型の「免許証明書」でも構いません。

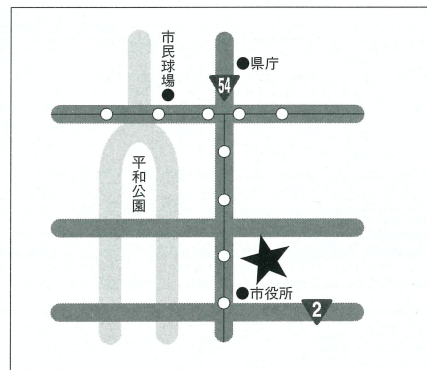


指定確認検査機関(中国地方整備局長指定第1号)
登録住宅性能評価機関(中国地方整備局長登録第5号)

ハウスプラス中国住宅保証株式会社

代表取締役社長 河内 昭士

〒730-0042 広島市中区国泰寺町1丁目3番32号
TEL.082-545-5607(代表) FAX.082-545-5608



お知らせ

定期講習は受講されましたか?

ご周知のように、設計事務所の建築士として登録している者は、平成23年度中(平成24年3月まで)に「定期講習」を受講することが義務付けられました。

当会は、(財)建築技術教育普及センターから実施運営を受託し、(社)広島県事務所協会と共にこの定期講習を開催しております。平成20年度は2～3月に3回行い350名余りの受講者がありました。

一部で、早く受講するのは損のように取りざたする風評がありますが、今後継続していく業務を考慮すると、1～2年の差は大した問題ではありません。できるだけ早い時期に義務を遂行して下さい。期限が迫ってもタイミング良く講習を開催しているとは限りません。余裕を持って、遅くとも平成22年度中には受講するように計画を立てましょう。

なお、「定期講習」は「管理建築士講習」とは別のものです。「管理建築士講習」を受講して管理建築士とし

て登録されている方も、「定期講習」は受講しなければなりません。

(財)建築技術教育普及センター主催の定期講習は、概ね年に4～5回、当会か事務所協会が運営実施をします。ホームページや会報誌でお知らせしますのでお見逃しなく!!

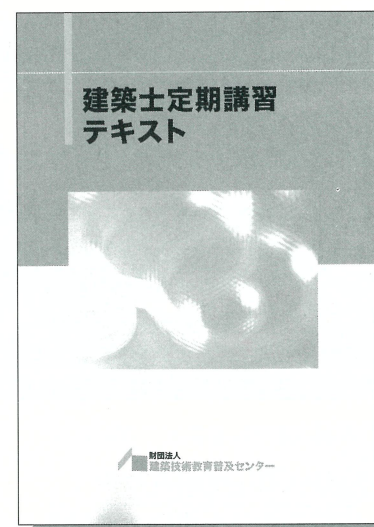
平成21年度の予定

6月5日(金):広島市【申込は締め切っています】

8月中旬:福山市【6月上旬申込】

9月上旬:広島市【6月上旬申込】

12月上旬:広島市【9月上旬申込】



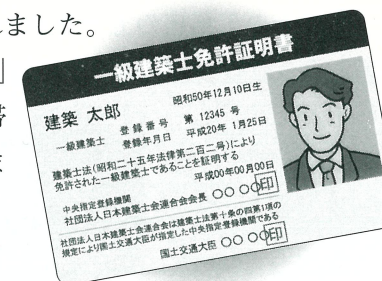
お知らせ

一級建築士・免許証をカード型へされましたか?

新しい建築士法では、重要事項説明の際、建築士免許証の提示が義務付けられました。

A4サイズの「免許証」でも構いませんが、携帯するには不便ではありませんか?

現在をお持ちのA4サイ



ズの「免許証」をカード型にされませんか?

詳しくは、当会HPをご覧ください。

<http://www.k-hiroshima.or.jp/index.html>

カード型に切り替えられた場合、原則お持ちの「免許証」と交換になりますが、お手元に持っておかれたい場合は、カードをお渡しする際、本部事務局で『無効印』を押印することによって可能になります。

あなたの作品で表紙を飾ってみませんか?

随時、表紙用の写真を募集しています。写真(プリント、ポジ、データ)2～3点を設計概要、設計趣旨(400字程度)と一緒に送ってください。会員の皆様からのご応募をお待ちしています。



社団法人 広島県建築士会

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47
広島県情報プラザ5F

TEL (082) 244-6830(代)

FAX (082) 244-3840

mail: info@k-hiroshima.or.jp

URL: <http://www.k-hiroshima.or.jp/>

2009 Information Calendar 4月・5月の行事予定

4 April

6月・二級・木造受験申込書配布(～17日まで)

13月・二級・木造受験申込受付(～17日まで)

18土・一級建築士製図対策講座(福山支部青年部会)

19日・一級建築士製図対策講座(福山支部青年部会)

27月・一級受験申込書配布(5月15日まで)

5 May

11月・一級受験申込受付(～15日まで)

16土・広島支部総会(広島県情報プラザ)

・尾道支部総会

21木・呉地区支部総会(呉森沢ホテル)

23土・平成21年度広島県建築士会定時総会(ローズコム)

・福山支部定時総会(ローズコム)

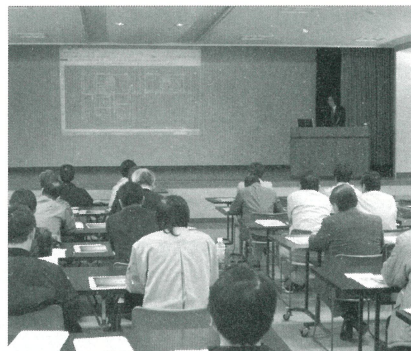
木造住宅耐震技術セミナー開催

中野 敏己



休憩時間に人集りができました。

呉市の耐震診断士である渡辺建築環境せつけいの渡邊氏からは、今年度実施した木造住宅耐震診断、耐震改修設計の実例を基に、診断方法や改修設計について、苦労話を交えながら分かりやすく説明がありました。



又、住宅金融支援機構中国支店の森山氏から、耐震改修に係る融資制度について、特に高齢者向け返済特例制度について詳しいお話を伺いました。

呉市建築指導課から、来年度も引き続き予定している「耐震診断・耐震改修の補助制度」について説明をいただきましたが、この補助制度は、現在、県内の多くの市町で実施されています。「耐震診断補助」は7市1町で、「耐震改修助成」は3市で行われておりますので、他支部の建築士の皆さんにも活用をお願いしたいと思います。

建築士や工務店の方々を中心に60名を超える参加者があり有意義なセミナーとなりました。最後になりましたが、このセミナーの計画立案をし、講師までしていただきました呉地区支部の渡邊氏に感謝いたします。



2月21日（土）、呉地区支部主催で「建築技術者のための木造住宅耐震技術セミナー」が開催されました。

呉市では、木造住宅の耐震診断や耐震改修事業の普及促進を目的として、平成16年から「木造住宅耐震改修セミナー」を実施。今年度も市民向けセミナー1回、「出前トーク」を3回実施し、今回は「平成20年度下期建築物防災週間関連事業」の一環事業です。

最初に呉市建築指導課として私から、「最近の建築行政の動向について」、建築基準法や建築士法改正の近況、住宅瑕疵担保履行法、長期優良住宅の認定制度等のお話を致しました。

続いて「耐震診断・耐震改修に関する技術講演」ということで、株式会社シューエックスアールの藤原氏は、耐震診断における基礎の判定方法について、また、株式会社タナカの中沢氏からは、耐震改修に使用する金物について、仕口の実物大の模型を使いながらの講演がありました。どれも興味深い話で、仕口の実物大の模型には、

平成20年度 第35回 支部対抗ボウリング大会

2月28日（土）、東広島市の「賀茂ボウル」で、恒例の支部対抗ボウリング大会が開催されました。昨年に引き続き、福山支部が優勝に輝きました。

〈団体の部〉

優勝 福山支部
2位 広島支部
3位 呉地区支部



第11回 建築なんでも探建隊

テーマ『紙が変身ミニハウス』 ～みんなでつくろう…崖の上の我が家～

長岡 みゆき



第11回フォーラムも、建築なんでも探建隊『紙が変身ミニハウス』シリーズになって4回目。今回は東部で開催しました。未来を担う子どもたちに、建築について関心・興味を持ってもらえたらという思いから始まったイベントですが、親子家族に混じって、少々年配の男性、

女性お一人での参加もちろほら。中には、2回目の参加で、前回の作品はクリスマスツリーを出すまで飾ってあったというご家族もいらっしゃいました。

「子どもの発想はすごい、参考にしたい」と刺激を受けたり、「親子の触れ合いが良かった」「最後まで自分の力で頑張った」との感想があり、私たちスタッフも元気をもらいました。



参加者32名、スタッフ講師の先生（福山支部の士会員でもある府中東高校インテリア科原田洋臣先生）含め12名、合計44名でにぎやかに楽しく、思い思いの『我が家』が出来上がりました。後日、作品の写真を参加者の方に送りました。お疲れ様でした。

「紙ぶるる」の作成と実験と終えて

森田 康資



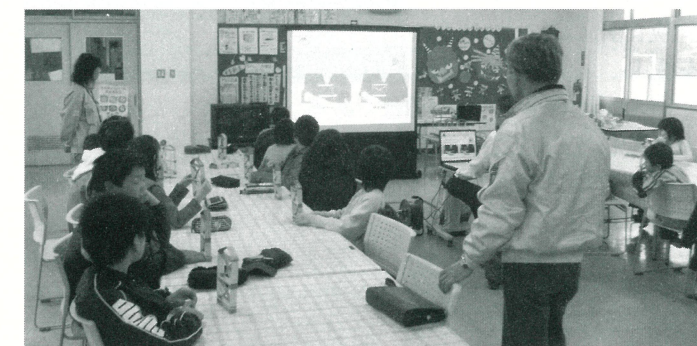
2月24日（火）、三原市立八幡小学校の放課後子ども教室の時間を利用させていただいて、「紙ぶるる」の体験会を行いました。「紙ぶるる」とは、名古屋大学大学院福和研究室で発案された、ペーパークラフト製の組み立て式振動模型です。木造2階建ての断面形状に組み立てた後、1・2階の筋交いを脱着したり、屋根にクリップを付けたりし、1階床下に手を入れ揺することで、建物の揺れ方の変化を簡単に実体験できるキットのことです。



参加メンバーは小学1～6年生。作業時間のバラつきを補うため、事前に両面テープを貼り付けたり、ミシン

目にカッターを入れ、取り外ししやすいよう工夫をしました。一人の脱落者を出すこともなく、無事、20分程度で組み立て終了。その後、個々に筋交いを着脱したりして、揺れ方の変化を実験しました。

三原市役所からお借りした阪神・淡路大地震のパネル等を展示していたので、地震の規模や被災状況も説明。その後、クイズ形式で、地震への心構え・対処方法・避難についての勉強も行いました。



「筋交いがあるのと無いのでは建物の揺れ方が違ったので、必要性がわかった」「クイズで地震について楽しく勉強することができた」、などの感想が聞けました。会場には、児童22名をはじめ、先生、保護者もおられ、歓声や笑顔があふれ、大変楽しく有意義な勉強をすることができました。